

【医学・薬学】

管理番号 フリガナ 氏名 生年または結成年 居住地	職業・役職・肩書き等 活動に関する資格等	経歴	活動内容	過去の講演・実技等のテーマ			
				対象者	活動可能地域 市内 市外		
41 アサノ トシキ 朝倉 俊成 1961 中央区	新潟薬科大学薬学部臨床薬学研究室 教授 1999年日本医療薬学会指導薬剤師、2001年日本糖尿病療養指導士、2016年日本くすりと糖尿病学会糖尿病薬物療法認定薬剤師、2017年日本集団災害医学会PhDLSプロバイダー	1984年新潟薬科大学卒業、1989年財団法人太田綜合病院(郡山市)勤務、2000年博士(薬学)取得、2006年新潟薬科大学薬学部臨床薬学研究室 准教授、2006年～2007年新津医療センター病院薬剤部長(兼務)2012年新潟薬科大学薬学部臨床薬学研究室 教授	医薬品の適正使用、医療安全などの臨床薬学分野。さらに、糖尿病薬物療法、特にインスリンなどの自己注射製剤や注射針に関する臨床開発や臨床での適正使用について研究しています。	●H30 新潟薬科大学 健康自立講座「糖尿病治療の基本とくすりの効き方」	青,成,齢	全市	三,新,加,燕,五,阿,胎
228 イシ マチ 石井 雅子 1963	新潟医療福祉大学 教授 中学校、高校、英語科1種免許、視能訓練士免許	1985年 深谷赤十字病院入職 1988年 新潟医療技術専門学校入職 2006年 新潟大学医学部非常勤講師(現在に至る) 2013年 新潟大学大学院博士課程修了 博士(医学) 新潟医療福祉大学医療技術学部視機能科学科 教授(現在に至る)	ロービジョン者の眼の機能を評価し、保有機能を最大限に活用する視覚補助具の選定や便利グッズの情報提供に関する研究を行っています。眼と健康寿命に関してわかりやすく伝えることで、眼に興味を持っていただけるような講演を行っています。子どもの視覚発達支援や視覚に障害を持つ子どもの就学、学習支援を行っています。	●R1 眼から始まる健康寿命の延伸 ●R2 めがねのまちさばえ眼育研修会、令和2年度保健衛生講習会	全て	全市	三,新,加,燕,五,阿,胎
131 イトウ カヨ 伊藤 加代子 1973	歯科医師	1998年 九州歯科大学卒業 2002年 九州歯科大学大学院修了 2002年(財)長寿科学振興財団リサーチ・レジデント 2005年 新潟大学医歯学総合病院 加齢歯科診療室 助教(現口腔リハビリテーション科) 2015年 新潟大学医歯学総合病院 口腔リハビリテーション科 病院講師	口腔乾燥症、味覚障害、口腔機能向上		成,齢,男,女	全市	三,新,加,燕,五,阿,胎
89 イノウエ マコト 井上 誠 1963 中央区	新潟大学大学院医歯学総合研究科 教授	1994年3月新潟大学歯学部卒業 1998年3月新潟大学大学院歯学研究科修了 1998年4月新潟大学歯学部助手 2004年9月新潟大学医歯学総合病院講師 2006年10月新潟大学大学院医歯学総合研究科助教授 2008年4月新潟大学大学院医歯学総合研究科教授	・高齢者の健康 ・口腔機能 ・摂食嚥下障害	●R1 摂食嚥下とフレイル、人生100年を生きるためのリテラシー～食を通して考える～、摂食・嚥下セミナー	全て	全市	三,新,加,燕,五,阿,胎
78 材田 ヲウ 大森 豪 1958 新潟市	整形外科医師、新潟医療福祉大学健康スポーツ学科 教授 医学博士、日本整形外科学会専門医、日本スポーツ協会認定スポーツ医	昭和60年新潟大学医学部卒業 平成2年米国留学 平成14年新潟大学大学院助教授 平成16年新潟大学超域研究機構教授 平成23年新潟大学研究推進機構超域学術院教授 平成25年新潟医療福祉大学健康科学部健康スポーツ学科教授 現在に至る	整形外科医としてスポーツ医学及び関節外科を専門とする立場から、 ①成長期のスポーツ外傷、障がい ②中高年者の健康スポーツ ③膝の痛み(変形性膝関節症) ④トッパースリートのスポーツ外傷、障がい などについて講演を含めた指導を行う	●R1 齢をとると膝が痛くなる理由	小,中,高,青,成,齢,女,親	全市	三,新,加,燕,五,阿,胎

【医学・薬学】

管理番号 フリガナ 氏名 生年または結成年 居住地	職業・役職・肩書き等 活動に関する資格等	経歴	活動内容	過去の講演・実技等のテーマ			
				対象者	活動可能地域 市内 市外		
111 加が ケンカ 春日 健作 1974	新潟大学脳研究所 遺伝子機能解析学分野 助教 日本内科学会:総合内科専門医、日本神経学会:専門医・指導医、日本認知症学会:代議員・若手研究者委員・専門医・指導医、Alzheimer's Association (International Society to Advance Alzheimer's Research and Treatment): Professional Member、PLOS ONE誌:Academic Editor	2000年3月 新潟大学 医学部医学科卒業 2009年3月 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 修了(医学博士取得) 2010年4月 米国カリフォルニア大学サンディエゴ校 神経科学分野 博士研究員 2012年10月 新潟大学 医歯学総合病院 神経内科 特任助教 2014年4月 新潟大学 研究推進機構 超域学術院 助教 2017年4月 新潟大学 脳研究所 生命科学リソース研究センター 遺伝子機能解析学分野 特任助教 2018年4月 新潟大学 脳研究所 生命科学リソース研究センター 遺伝子機能解析学分野 助教 (現職) 2018年10月 第37回日本認知症学会学術集会 学会奨励賞(最優秀演題)	認知症、特にアルツハイマー病に関する臨床および基礎研究	●H30 アルツハイマー病治療のいま、これから ●R1 五泉市認知症講演会 知っておきたい"認知症" ●R2 ロコモと認知症の深い関係	中高、青、 齢、男、女	全市	三、新、加、燕、 五、阿、胎
117 かろ ミリ 加藤 公則 1963	医師・特任教授・新潟大学大学院生活習慣病予防健診医学講座(通称:人間ドック・健診学講座)兼新潟県労働衛生医学協会	1988年新潟大学医学部卒業、1988年新潟大学医学部第一内科入局、1995年新潟大学大学院医学研究科内科系専攻博士課程修了、1995年カナダ、マニトバ大学留学、1998年新潟大学医療短期大学助手、1999年新潟大学医学部附属病院第一内科助手、2008年新潟県労働衛生医学協会、2014年現職	日本内科学会認定医、総合内科専門医、日本循環器学会専門医、日本医師会認定産業医、日本医師会認定健康スポーツ医、独立行政法人 国立健康・栄養研究所 客員研究員、日本人間ドック学会理事、生物試料分析学会理事、日本臨床化学会新潟支部・地区代表として活動しています		青、成、齢	全市	
110 さいわい かつ ひろ 齋藤 和英 1961 新潟市	医師 新潟大学大学院 医歯学総合研究科 腎泌尿器病態学分野 准教授・移植医療センター 副部長 日本国医師免許 日本泌尿器科学会専門医・指導医 日本移植学会 移植認定医 日本臨床腎移植学会 腎移植認定医	1987年 新潟大学医学部医学科 卒業 医籍登録 1994年 新潟大学大学院医学研究科 博士課程修了 医学博士 1998年 米国マサチューセッツ総合病院移植外科 2015年 新潟大学大学院 腎泌尿器病態学分野 准教授 2020年 新潟大学医歯学総合病院 病院教授	新潟大学泌尿器科医師として泌尿器科医療に従事しているが、中でも特に腎移植を専門領域としており現在までに約700件の腎移植を行っている。わが国では未だ一般的ではない臓器提供の問題も含め広く臓器移植医療全般に関する普及啓発活動にも力を入れている。		全て	全市	三、新、加、燕、 五、阿、胎
309 さいわい かつ ひとし 斎藤 忠雄 1954 中央区	内科医師・斎藤内科クリニック院長 医学博士、新潟県小規模多機能型居宅介護事業者協議会会長	1990年 3月新潟大学大学院卒業 1990年10月米国アラバマ大バーミンガム校微生物学客員助教授 1994年11月斎藤内科クリニック開業 2015年 5月新潟県小規模多機能型居宅介護事業者協議会会長 2017年 4月昭和大学歯学部総合診療歯科部門兼任講師 その他 新潟大学大学院保健学研究科非常勤講師、新潟医療技術専門学校非常勤講師	平成24年高齢者を支える地域包括ケア概念が示され、平成29年5月には支援を必要とするすべての人たちへケアシステムが強化され、地域共生社会の仕組み作りが整いました。地域、人、制度が統合され、在宅医療は「治す」から「支える」医療、上位概念としての「在宅ケア」を生活圏内で実現する活動を行っています。	●R1 暮らしの中で 輝いのちを考える～住み慣れた地域で最期まで生きるために、在宅ホスピスボランティア ●R2 医療と介護における小規模多機能の役割	小、中、高、 成、齢、障、男、 女、親	全市	三、新、加、燕、 五、阿、胎
121 さいわい けん 佐藤 勇 1955 中央区	小児科医師 医学博士(新潟大学)、日本小児科学会専門医、日本循環器学会専門医、日本超音波医学会指導医、地域総合小児医療認定医、全国病児保育協議会新潟県支部長、感染症対策委員会委員長	昭和56年3月 秋田大学医学部卒業 昭和62年5月 新潟大学医学部小児科助手 平成2年7月 新潟大学医学部小児科講師 平成6年4月 済生会新潟第二病院小児科 平成9年4月 よいこの小児科さとう開院 平成12年10月 病児保育室よいこのもり開設	早寝早起き、子供の生活習慣の重要性に関して概説します。子どもとメディアの問題、メディアとのつきあい方、スマホで子守りをさせないための環境づくり、親の対応について概説します。予防接種の重要性必要性に関して解説いたします。病児保育子育て支援に関して概説いたします。	●R1 多職種で関わるネウボラの事業、お医者さんのかかりかた、育てようすやかな心と体 望ましい生活リズムを作るために	小、中、高、 成、男、女、親	全市	三、新、加、燕、 五、阿、胎

【医学・薬学】

※対象者・活動可能地域に関する注は3ページ

管理番号 フリガナ 氏名 生年または結成年 居住地	職業・役職・肩書き等 活動に関する資格等	経歴	活動内容	過去の講演・実技等のテーマ			
				対象者	活動可能地域 市内 市外		
33 サトウ セイ 佐藤 征也 1944 秋葉区	(株)グリーンズグリーン代表取締役 医学博士 健康管理士 予防医療診断士 実践健康経営指導士 盆栽士 書道師範	新潟大学農学部卒富山医科薬科大学(現富山大学)博士課程卒、医学博士、元新潟大学客員教授、元新潟薬科大学客員教授 民間でワクチンの製造研究に従事、ウイルス学、免疫学、臨床化学学、専門。現在、地球温暖化対策として苔の効能効果を研究中。 植物の光合成によるCO2削減について研究中	免疫学、ウイルス学、臨床化学をベースにして、予防医学に関する具体的な知見を基に、未病対策法の浸透をはかる。さらに健康管理士、実践健康経営指導士として、職場の健康増進とその対策についての管理指導を実施する。未病対策(人間、植物とも)、園芸療法、インフルエンザ対策、植物の効能効果	●H29 未病対策、バイオが開く未来の農業、バイオ技術で町の活性化 ●H30 地球温暖化対策 ●R2 苔の効能効果、苔アートその効能	成 齢	中 秋	五、阿
69 スガノ リキ 須永 隆夫 1946 新潟市	木戸クリニック(新潟医療生活協同組合)所長 医師	大学卒業後より、予防医学に関心を持ち、食・農・漢方医学に親しんでいる。 若い先生方にも漢方医学をお伝えしつつ、一般の皆さんへは操体法を中心に生活習慣病の予防と治療をお伝えしている。	・生活習慣病の一次予防、操体法(食・呼吸・動き・心の持ち方・環境と病態との相関)を伝える ・「人間ドック、健診」と健康寿命を延ばすために生活習慣病との相関と活用 ・漢方医学と健康	●R1 生活習慣病の予防と治療 かげ、腰痛～癌まで		全 市	三、新、加、燕、五、阿、胎
115 ソカワ タク 外川 佑 1984 北区	新潟医療福祉大学 講師 作業療法学修士(山形県立保健医療大学) 博士(工学)(筑波大学)	2019年4月 - 現在新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 講師 2015年4月 - 2019年3月新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 作業療法学科 助教 2013年4月 - 2015年3月新潟医療福祉大学 医療技術学部 作業療法学科 助手	高齢ドライバーの運転の安全性向上のために、どのような取り組みが必要なのか?脳卒中や頭部外傷によって心身に障害を抱えている対象者が自動車運転の再開を希望したら、どのように対応したらよいのか?社会復帰を果たすためにはどのように評価・支援・訓練したらよいのかについて研究しています。	●H30 安全な自動車運転とその対策～自動車運転を楽しむために～ そのき市民学級	成、齢、障	全 市	三、新、加、燕、五、阿、胎
129 タカハシ カズイ 高橋 一栄 1944 中央区	大学教授 医学博士 教員免許(専修免 中学国語、一種免 保体) 医学博士(新潟大学 医歯学総合研究科)	義務教育学校教員 義務教育学校教頭 義務教育学校校長(最終 新潟市立鳥屋野中学校校長) 新潟医療福祉大学教授 創造学園大学教授 荻至誠館大学東京キャンパス教授	現在、NPO法人「貯筋運動研究会」の指導者として年間80～100回の講演および実技指導活動実施。おもに、中高年の健康寿命を延ばすことを目的に、ストレッチング、簡単筋トシの必要性を伝えている。県社協、「高齢者大学」講師としても活動し、高齢者こそ筋力維持、向上が必要であることをいろいろな場面で説明している。筋肉のなかでも歩行能力と大きく関係する「大腰筋」の研究を継続して行ってきた。	●H29～R2 鳥屋野地区エクササイズ、大学南ヶ丘エクササイズ ●R1 シニア大学「認知症、転倒予防とエクササイズ」	小、中、高、青、成、齢、障、男、女、親	全 市	三、新、加、燕、五、阿、胎
205 ノヰイ ヒロシ 瀧井 康公 1960 中央区	新潟県立がんセンター新潟病院 消化器外科部長 外科学会外科専門医 消化器外科学会認定医 日本大腸肛門病学会専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本内視鏡外科学会消化器・一般外科領域技術認定医	1999年4月から、新潟県立がんセンター新潟病院に勤務。 大腸癌治療(外科治療・抗癌剤治療)に係わってきました。	大腸癌治療(外科治療・抗癌剤治療)	●H30 最新の大腸癌診療-1 -外科治療・抗癌剤治療-	成、齢、男、女	全 市	三、新、加、燕、五、阿、胎

【医学・薬学】

管理番号 フリガナ 氏名 生年または結成年 居住地	職業・役職・肩書き等	経歴	活動内容	過去の講演・実技等のテーマ		
	活動に関する資格等			対象者	活動可能地域	
					市内	市外
7	新潟県立がんセンター新潟病院医師・緩和ケア科部長	自治医科大学卒業、新潟大学医学部第一外科入局。消化器外科医として県内の病院に勤務。外科医として最後の勤務先となった新潟通信病院で、緩和ケアの理想と現実と悩み平成19年白根大通病院ホスピス科に入職。元聖隷ホスピス長 故干原明氏に師事。平成22年県立加茂病院緩和ケア科・一般内科部長。平成28年現職。	比較的新しい医療の分野である緩和ケアについて、終末期医療としての側面だけではなく、疾患の全ての時期(診断早期・治療期・治療終了後・看取り期)に共通する医療の根本的な要素であることを実践し、医療者・一般市民の皆様伝えていきます。	●H30 「アドバンス・ケア・プランニング～不確実性の共有～」「がん診療における意思決定支援」「腫瘍と緩和を考える会」「アドバンス・ケア・プランニング～不確実性を共有する～」「医師としてアドバンスケアプランニングを始める理由」「がん消化器症状緩和におけるIVR・薬物・外科的治療の位置づけー日本緩和医療学会消化器症状ガイドラインで伝えたいことー」 ●R1 「当院での強オピオイドの使い分け」「がんセンター新潟病院緩和ケアチームによる疼痛緩和の実践」「アドバンス・ケア・プランニング 同様のを見ているはずです」「がん患者の神経障害性疼痛」 ●R2 「ACP 人生会議について」「アドバンス・ケア・プランニングの成立と現状ー緩和ケアにおけるACPの役割ー」		
本間 英之	日本緩和医療学会緩和医療専門医 日本外科学会外科認定医			小,中,高,青,成, 齢,男,女, 親	全市	三,新,加,燕,五,阿,胎
1969	西区					
160	(株)新潟TLO代表取締役、(株)UniBio(ユニバイオ)代表取締役	新潟大学S40卒業、(株)荏原製作所入社。米国駐在16年間、中国駐在4年間。(株)新潟TLO社長H16～現在、(株)UniBio H23(株)UniBio設立。海外とのビジネス経験(約30年間)を生かし、産学官連携の仕事をH16より継続するなかで新潟県に植物バイオの技術を導入し、産業活性化、革新技術を通じ地方創生に貢献したい。	20年以上の海外生活で経験した異文化の中でいろいろな人種、国籍の人たちと如何に仲良く仕事をしていかを米国、中東、中国、東欧の人々と経験しました。H16年以来、産学官の連携の仕事を通じ、新潟県の若い人達に新しい産業(植物バイオの技術)を通じ、地方活性化に取り組んで来ています。新しい化粧品原料や再生医療に用いる、アニマルフリーの試薬開発と製造・販売の活動と産学官連携実施中。	●健康のための薬の上手な利用法、健康寿命・幸福寿命を享受するために		
17年 ヨウジ	特になし。過去に新潟大学客員教授を経験。産学連携を通じ、文部科学大臣賞受賞(H18)			成, 齢,男,女	全市	三,新,
1942						
202	新潟薬科大学・副学長・教授、薬学博士	東京薬科大学博士前期課程修了、新潟薬科大学助手、講師、助教授、教授(臨床薬物治療学研究室)。米国ミシシッピ州立大学メディカルセンター・医学部薬理毒性学教室留学。学内：副学長、広報室長、高度薬剤師教育研究センター長。学外：新潟県薬事審議会委員、新潟県立看護大学非常勤講師、新潟県立十日町看護専門学校非常勤講師	健康長寿を目指すための予防法、可能な限り薬は使わない健康維持、薬の正しい服用法、薬は服用時刻により効果を高めて副作用を減らすに適切な服用時刻があること、骨を丈夫にして健康維持、20才までの若い時に質の良い骨を作ることが健康維持に重要、健康維持には終末糖化産物の多い食品は避ける。	●健康のための薬の上手な利用法、健康寿命・幸福寿命を享受するために		
7カバヤシヒロキ				高,成, 齢	全市	三,新,加,燕,五,阿,胎
1953						